



- 会長／矢島 進
- 副会長／山岸邦太郎・北澤洋之介
- 幹事／林 尚孝
- R 情報(会報)委員長／佐伯克己

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939
URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2811 回例会 2017 年（平成 29 年）10 月 31 日(火)

点 鐘：矢島 進 司 会：佐藤有司
斉 唱：我等の生業
ラッキーNo：NO. 30 矢島 實

会長挨拶

こんにちは。日本経済新聞の最終面に交遊抄という交遊録や随想を紹介するコラムがあります。

読まれた方もおられるかも知れませんが、10月25日の交遊抄に「ロータリークラブ」の文字が目にとまり、読んでみたら大阪東RCメンバーで大阪工機社長の柳川重昌氏の交遊録が執筆されておりました。

柳川氏は同クラブのメンバーと食事を囲んだり奉仕活動をする中で、親交を深め意気投合した東洋テック相談役・新井信彦氏から、ロータリー活動を通して自分がこれまでに経験してこなかったことを学んでいると紹介されました。

一部抜粋させていただきますと、新井氏の海外での奉仕活動の統率力、海外訪問でのスケジュール管理、イベントの段取りの良さ、物事をまとめる優れたバランス感覚は「さすが」と称賛されており、これからも教えていただきたいと締めくくられておりました。

多くの経営者が購読している日経新聞においてもRCのことが載ることは稀でしたし、柳川氏の書かれた交遊抄は、スケールの違いはあるかも知れませんが、私達ロータリアンが共感できる内容で励みになると思いましたので、今日は話題にさせていただきました。

幹事報告

- 11/6(月)の七クラブ合同親睦会は茅野のマリオローヤル会館で18時受付です。岡谷RCからは11名の参加ありがとうございます。電車で行かれる方は、岡谷駅発17:08がありますのでご利用ください。

委員会報告

役員及び理事指名委員会 期日までに2018-2019年度役員・理事の推薦がございませんでした。ご報告いたします。本日例会終了後クラブ事務所において指名委員会を開催いたしますので、委員の方はよろしく願いいたします。



卓話「消防団活動を通じて」

山岡俊幸会員



本日は岡谷RCに入会して初めての卓話ということで、緊張して言葉が詰まってしまうかもしれませんがお許しください。

テーマは「消防団活動を通じて」といたしました。私にとって消防団活動は大変重要なことですので、それを踏まえて自己紹介とさせていただきます。矢島会長も現岡谷市消防団長でおられますし、私の父、山岡晴男も矢島会長の前任で岡谷市消防団長を務めておりました。会員の方の中にも消防団活動をされている方もおられると思いますが、私も社会人になり20年余り現在も消防団活動をしております。その中で私が感じたこと、活動を報告しながらお話しをさせていただきます。

自己紹介

- ・1975年(昭和50)8月30日岡谷市湊に生れる
- ・平成2年 岡谷工業入学、硬式野球部入部
- ・平成4年 夏の大会ベスト4進出 佐久に2-1で惜敗
- ・平成11年 マルゴ工業入社
- ・平成14年-15年 フィリピン工場立上げ 赴任
- ・平成15年-18年 中国工場立上げ 赴任
- ・平成20年 代表取締役社長就任

現在に至る

<消防ポンプ操法とは>

消防団員が消火技術の向上並びに初期消火のため必要な技術を身に付け、いかなる状況下においても、迅速、確実、かつ安全に行動できるように、主要な消防用機械器具のうち、特に反復訓練の必要なものを選定してその操作及び取扱いの基本を定めたものである。
操法大会は、各番員の審査項目による減点方式と、放水までのタイムを争う。また、規律、敏捷性、士気、安全性も総合的に審査され、一番減点の少なかったチームが優勝となる。

・ポンプ車操法の部 5人

- 指揮者 各番員への指揮、号令及び命令
- 1番員 第一線延長、放水
 - 2番員 第一線延長と第二線延長、放水
 - 3番員 吹音伸長と第二線延長
 - 4番員 吹音伸長と機関操作



・小型ポンプ操法の部 4人

- 指揮者 各番員への指揮、号令、命令と第一線延長
- 1番員 第一線延長と放水
 - 2番員 吹音伸長と伝達
 - 3番員 吹音伸長と機関操作



<消防団活動略歴>

- 平成10年 岡谷市消防団第七分団入団
- 11年 ポンプ車操法3番員
- 12年 ポンプ車操法2番員
- 13年 ポンプ車操法1番員
- 15年 小型ポンプ操法1番員
- 18年 小型ポンプ操法1番員
岡谷大会優勝 13年ぶり
諏訪郡大会準優勝
7月豪雨災害発生
- 19年 ポンプ車操法2番員
- 20年 小型ポンプ操法1番員
- 21年 分団番員コーチ
- 22年 小型ポンプ操法指揮者
- 23年 小型ポンプ操法3番員
岡谷大会優勝 諏訪郡大会準優勝
- 24年 ポンプ操法指揮者 最下位になる
- 25年 ポンプ操法4番員
岡谷大会優勝七分団初 諏訪郡大会3位入賞

平成26年 小型ポンプ操法2番員

岡谷大会準優勝

27年 分団番員コーチ

3月31日 川岸山火災発生

28年 分団番員コーチ

29年 分団番員コーチ

団員歴19年目 操法選手12回 コーチ4回



*平成18年7月岡谷市豪雨災害



平成27年3月31日 川岸大規模山林火災発生



<約20年間の消防団活動を通じて感じた事>

I.ポンプ操法に関して

4月～6月の3か月間、毎朝4時頃からの練習と夜間練習を含め屋間の仕事との両立は大変である。もちろん優勝を目指して練習するが、負けた時は悔しい反面、正直ほっとする気持ちもある。大人（おじさん）になって、なかなかひとつの事に向かって燃えるものが無い中、チームとして団結して燃える気持ちを持たせてくれる生活に刺激を与えてくれるものである。（全国大会まで目指せる）分団によっては、何年も同じ選出を起用し、上の大会を狙う所もあるが、七分団は毎年新入団員や若手を起用し活性化を図っていますもちろん優勝を目指す事も良いが、本来の目的は、消防器具の操作や動作を覚える事であり、実際の火災現場で誰でも消火活動が出来るようにするためには、毎年違う人や、番員を変えて出場することが大事だと考えます。

II.消防団にあり方について

少子高齢化、若年層の消防嫌いもあり、団員確保は全国的に大きな課題である。私も最初の数年は行くのが嫌でした。しかし活動を続けていく事によって、地域での必要性や人と人との繋がりがもたれて今では、誇りをもって活動しています。消防団はただ飲んでるだけだ、消防署があれば大丈夫だと言う人もいますが、実際は、大火事にならないようにするための初期消火や、火災現場での分団のサポートなくしては、消防署員だけでは回しきれません。また、山火事や地域の住宅密集地では、大型のポンプ車は入れず、分団による人海戦術が最も効果的で重要であると思います。火災に限らず、全国各地で起こっている、水害や地震災害においては地道な作業による地域消防団が大活躍しています。これは7月豪雨災害時の不眠不休の活動をして痛切に感じました。したがって、地域における防火防災や災害復旧活動には、消防団の役割はこれからも大変重要であると考えます。

III.最後に（私見）

全国的な団員不足、高齢化の問題もありますが、消防団の必要性はますます高くなっていくと思います。消防団員は、非常勤の特別地方公務員であるが、消防団に対する予算は年々削られ、必要な機材や資材も更新されず、活動がしにくくなっています。もし、国がその必要性を考えるのであれば、全国の消防団に大きな予算を割くべきであると考えます。逆にそんなところにお金は掛けられない、必要ないと考えるのであれば、いっそのこと人出不足の消防団なんてすべて解散してしまえば良いと思います。無給で活動する消防団が居なくなったらきっと困るはずですよ。

ニコニコボックス

- 牛山幸一 創業82年になりました。息が続く間頑張りますのでよろしく。
 - 守屋麻里 創業月です。この一年もがんばります。
 - 矢島 進 秋のコンペ準優勝させて頂きました。
 - 宮坂宥洪 今日は新しいお堂の地鎮祭を執り行いました。
 - 山岡俊幸 本日は初めて卓話を担当します。緊張しますが精一杯務めさせて頂きます。
- 今井康善・牛山幸一・太田博久・小口 隆・小口泰史・北澤洋之介・小山 智・佐伯克己・佐藤有司・瀬戸雅三・高木昭好・高木克彦・中畑隆一・中村文明・濱 毅・濱 俊弘・林広一郎・林 尚孝・林 靖高・平沢清文・宮坂晃介・宮坂 伸・宮澤由己・矢島 進・矢島 實・山岸邦太郎・山崎典夫 山岡俊幸会員、卓話を宜しくお願いします。

出席報告

会員数40名、出席者30名、出席率81.08%、前々回訂正59.46%

2017-2018

岡谷ロータリークラブテーマ

『楽しく奉仕の輪を広げよう』



2017-2018年度RIテーマ
ロータリー:変化をもたらす
ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

